

「生成 AI テクノロジーイベント」 開催報告

ふくいオープンイノベーション推進機構（FOIP）では、産学官金連携による技術開発や製品開発を支援しています。その重点支援分野として「AI・IoT・ロボット」にも注力しております。この度、FOIPの一員である福井工業大学のAI&IoTセンター等が、AIを活用したビジネス創出支援のために、生成AIの最新動向からハンズオンを通じた学びまでを提供する「生成AIテクノロジーイベント」をイノベーションリサーチ交流会として開催しましたので報告します。

1. 『生成AIテクノロジーイベント（IR交流会）』概要

日 時：令和6年6月7日（金） 14：45～17：45

会 場：福井工業大学 2-801教室（福井県福井市学園3-6-1）

主 催：福井工業大学 AI&IoTセンター・AI&IoTコンソーシアム

未来協働プラットフォームふくい推進事業

後 援：（一社）福井県情報システム工業会、ふくいオープンイノベーション推進機構（FOIP）、
NPO法人 新共創産業技術支援機構（ITAC）

参加者：91名

2. 実施内容

（1）講演①『開催挨拶およびAI&IoTコンソーシアムの紹介』

福井工業大学 AI&IoTセンター長 芥子 育雄 氏

福井工業大学 AI&IoTセンターおよびAI&IoTコンソーシアムの、生成AIでの取り組み事例として、医療・看護、観光、カスタマーサポート等の例の紹介があった。医療分野では、GPT-4等を使用して、経験を積んだ熟練の医師のように患者が訴える症状から正しい病名を推定する取り組みを行ったとのこと。また、生成AIにキャラクターを掛け合わせた音声対話型AI「ケアボット」のデモンストレーションがあった。



会場の様子



講演①『AI&IoTコンソーシアムの紹介』

（2）講演②『生成AIの最新トレンド：応答の説明可能性と根拠の統合』

Google US, Senior Cloud Data Architect Ankit Virmani 氏（通訳：カンザダ・あみる氏）

生成AIは文章の作成や会話対応、分析などが可能であり、日本でも、健康、金融、教育、政府、小売、ソフト開発など多分野で活用できる。政府分野では、法律違反のチェックや、インフラ施設の保守予測による予算の最適化、政策立案などで活用が見込まれる。教育分野では、学習進度に合わせた自動的な個別指導や、特別支援が求められる学生への翻訳・通訳、管理業務の自動化などで生成AIが活躍するとのこ

とであった。

(3) 講演③『スマホ一つで診断、AIが変えるパンデミック対応』

Virufy Founder/CEO カンザダ・あみる 氏

音声分析を行うことでコロナ感染などによる呼吸器疾患が検知出来るスマホアプリ「Virufy」の紹介があった。本アプリは、新型コロナウイルス感染症等の呼吸器系に関連する独特の音声パターンを検出し、簡易的に呼吸器疾患の検知が可能とのこと。今後は、感染症の追跡を行うために、AIを活用して収集した咳音声の異常検知の地域を把握し、呼吸器疾患の予測システムの構築を目指している。日本以外にも、シンガポールや米国、中東等で展開を進めているとのことであった。



講演②『生成 AI の最新トレンド』



講演③『スマホ一つで診断、AIが変えるパンデミック対応』

(4) 講演④『地域オープンデータで世界を変える! AI&IoT 開発ハンズオン』

株式会社 jig.jp 創業者 & 代表取締役社長/福井県情報システム工業会連外部会長 福野 泰介 氏

ChatGPT に講師の開発アプリを組み合わせたデモ紹介を交えて、地域オープンデータの AI 活用事例の紹介があった。当日参加者はデモを体験した。その中の「VR 東尋坊」では、東尋坊のドローン撮影を基に作成された 3D モデルを WEB 上で自由視点による観察ができ、「チャットボット デモ」では、ChatGPT と話し方を設定したキャラクターを組み合わせて、福井県の観光について質問ができた。AI 開発時の注意点として、AI は本当っぽい嘘（ハルシネーション）をつく事があるため、良いインプットを入れて改善していく必要があるとのことであった。



講演④『地域オープンデータで世界を変える! AI&IoT 開発ハンズオン』



質疑応答

問い合わせ先：(公財)ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部 笹口